

第268回 謳粹会の記

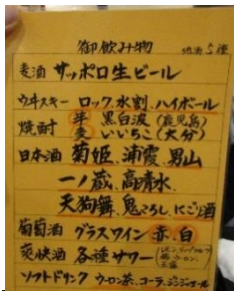
令和5年2月9日(木) 18:30～

立春を迎え、梅まつりの季節になったが今日は風が強く寒い。皆さんは、節分で豆まきをし翳を、そして歳の数だけの豆を、初午で赤飯(いなり寿司)を食べたでしょうか。

関東や関西など各地で相次ぎ大きな社会不安を与えた強盗事件はマニラにある入管施設に収容中の日本人が「ルフィ」などと名乗り、交流サイト(SNS)を通じて実行役を集めたり、犯行を指示したりしていた疑いが強まった。収容中の男4人が日本に強制送還された。14都府県で30件を超える強盗や窃盗に関係し、その被害額は約60億円になる。4人は詐欺グループの幹部とされている。



コロナ感染者数が急激に減少している。今日の全国の感染者は先月の二十数万人から 32,797 人になった。政府は、新型コロナウイルス感染症上の位置づけを5月8日に「2類」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移項する。コロナ患者を確認する全数把握も廃止する。定数把握に変更し週一回の発表となる。行動制限なども撤廃される。



今回のお店は小野さんご紹介の有楽町駅から地下道で続く国際ビル地下一階にある「日本料理 おかもと」である。参加者13名の席は奥のテーブルが用意されていた。ほかのテーブルもお客でにぎわっていて人気のあるお店のようだ。定刻には12名が揃った。生ビールを注文し、永井さんの乾杯の音頭で開宴となった。先付としてとらふぐの煮凝り、大皿に家庭料理のような5種盛合せ(高野豆腐・下仁田炒りこんにゃく・小松菜のおしとしきんぴらごぼう・かぼちゃの煮物)が銘々に運ばれる。日本酒向きのアテなので日本酒(菊姫)を頼んだら生ビールが



空になってからと言われる。すこし戸惑ったが慌ててビールを飲み干す。お酒は5勺位入ったグラスが枡の袴に入れられている。女性陣からバレンタインのチョコレートが供された。花上さんが店を探すのに戸惑った様子で席に着いた。全員が揃ったので乾杯をする。とらふぐの薄造り(写真なし)、あん肝ぼん酢と続く。お酒は、「浦霞」「男山(北海道)」「一ノ蔵」「高清水」と続いた。銘々にコンロが運ばれあんこう鍋が出てきた。鍋で体が温まると心地よい酔いが全身に広がる。しばらく歓談が続く。あんこうの雑炊が供され、お酒がオーダーストップとなる。デザートが運ばれたら時計は9時近くになっていた。テーブル席で集合写真を撮りお開きとなった。



第269回謳粹会は令和5年3月9日(木)に開催される。

<廣瀬記>